# スーパーマーケット販売統計調査資料

## 2018 年 11 月実績 速報版（パネル 270）
## 10 月実績 確報版（パネル 270）

## （2018 年 12 月 21 日公表）

## 調査資料概要

**【パネル 270 社集計】**

食品を中心に取り扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2016 年 4 月実績よりパネル対象企業変更（275 社→270 社）

**【集計項目】**

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

**【速報版・確報版】**

速報版：毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版：速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

**【全店・既存店】**

全店：前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店：前年同月、当月共に営業の店舗による比較

**【商品分類】**

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 総売上高 | 食品合計 | 生鮮 3 部門 | 青果 | 野菜類、果実類、花 |
| | | | 水産 | 魚介類、塩干物 |
| | | | 畜産 | 食肉類、肉加工品 |
| | | 惣菜 | | 惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インストアベーカーリー、ファーストフード |
| | | 日配 | | 豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム |
| | | 一般食品 | | 調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類 |
| | 非食品 | | | 日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具 |
| | その他 | | | テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業（DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等） |

**【地方分類】**

| | |
|---|---|
| 北海道・東北地方 | 北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島 |
| 関東地方 | 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川 |
| 中部地方 | 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知 |
| 近畿地方 | 三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫 |
| 中国・四国地方 | 岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知 |
| 九州・沖縄地方 | 福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄 |

※2014 年 4 月実績よりエリア区分を 8 地方区分による 6 地方に変更

一般社団法人　全国スーパーマーケット協会
一般社団法人　日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

2018年12月21日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

# スーパーマーケット販売統計調査
# 2018年11月実績　速報版（パネル270）

| | 全店売上高（万円） | 構成比 | 前年同月比（全店） | 前年同月比（既存店） |
|---|---|---|---|---|
| 総売上高 | 85,324,110 | 100.0% | 99.4% | 98.4% |
| 食品合計 | 76,645,527 | 89.8% | 99.9% | 98.7% |
| 生鮮３部門合計 | 28,983,182 | 34.0% | 99.5% | 98.3% |
| 青果 | 11,545,216 | 13.5% | 101.3% | 100.2% |
| 水産 | 7,208,789 | 8.4% | 98.9% | 97.6% |
| 畜産 | 10,229,176 | 12.0% | 98.0% | 96.7% |
| 惣菜 | 8,672,593 | 10.2% | 102.0% | 100.5% |
| 日配 | 16,569,410 | 19.4% | 99.5% | 98.5% |
| 一般食品 | 22,420,342 | 26.3% | 99.8% | 98.9% |
| 非食品 | 6,429,000 | 7.5% | 95.7% | 95.3% |
| その他 | 2,249,628 | 2.6% | 97.2% | 97.9% |

地方分類別集計

| エリア | 全店売上高（万円） | 集計対象企業数 | 前年同月比（全店） | 前年同月比（既存店） |
|---|---|---|---|---|
| 北海道・東北地方 | 11,638,059 | 43 | 99.9% | 98.5% |
| 関東地方 | 31,794,103 | 73 | 99.6% | 98.2% |
| 中部地方 | 9,844,695 | 53 | 99.5% | 98.7% |
| 近畿地方 | 18,892,715 | 44 | 98.9% | 98.3% |
| 中国・四国地方 | 8,522,748 | 34 | 100.0% | 98.3% |
| 九州・沖縄地方 | 4,631,789 | 23 | 98.3% | 98.7% |

保有店舗数別集計

| 保有店舗数 | 全店売上高（万円） | 集計対象企業数 | 前年同月比（全店） | 前年同月比（既存店） |
|---|---|---|---|---|
| 1～3店舗 | 617,403 | 45 | 94.1% | 95.4% |
| 4～10店舗 | 3,845,506 | 74 | 98.1% | 98.4% |
| 11～25店舗 | 9,280,790 | 61 | 98.7% | 98.4% |
| 26～50店舗 | 14,768,644 | 46 | 99.2% | 98.2% |
| 51店舗以上 | 56,811,767 | 44 | 99.7% | 98.4% |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 集計企業数（社） | 270 | 既存店総売上高（万円） | 83,164,485 |
| 総店舗数（店舗） | 7,953 | 店舗平均月商（万円） | 10,729 |
| 総売場面積（㎡） | 13,209,771 | 売場１㎡あたり売上高（万円） | 6.5 |

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第２位以下四捨五入

2018年12月21日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

# スーパーマーケット販売統計調査
## 2018年10月実績　確報版（パネル270）

| | 全店売上高（万円） | 構成比 | 前年同月比（全店） | 前年同月比（既存店） |
|---|---|---|---|---|
| 総売上高 | 88,919,185 | 100.0% | 101.2% | 100.2% |
| 食品合計 | 80,650,536 | 90.7% | 101.9% | 100.6% |
| 生鮮３部門合計 | 31,039,470 | 34.9% | 103.3% | 102.0% |
| 青果 | 12,998,841 | 14.6% | 109.2% | 107.8% |
| 水産 | 7,549,079 | 8.5% | 101.7% | 100.4% |
| 畜産 | 10,491,550 | 11.8% | 97.9% | 96.7% |
| 惣菜 | 9,103,396 | 10.2% | 104.4% | 102.7% |
| 日配 | 17,567,274 | 19.8% | 101.1% | 100.0% |
| 一般食品 | 22,940,397 | 25.8% | 99.6% | 98.5% |
| 非食品 | 5,903,999 | 6.6% | 97.2% | 96.8% |
| その他 | 2,364,697 | 2.7% | 95.4% | 96.4% |

地方分類別集計

| エリア | 全店売上高（万円） | 集計対象企業数 | 前年同月比（全店） | 前年同月比（既存店） |
|---|---|---|---|---|
| 北海道・東北地方 | 12,044,740 | 43 | 98.8% | 97.3% |
| 関東地方 | 33,030,229 | 73 | 101.7% | 100.4% |
| 中部地方 | 10,821,565 | 53 | 101.5% | 100.5% |
| 近畿地方 | 19,191,810 | 44 | 102.1% | 101.7% |
| 中国・四国地方 | 8,940,848 | 34 | 101.6% | 99.9% |
| 九州・沖縄地方 | 4,889,994 | 23 | 99.8% | 100.2% |

保有店舗数別集計

| 保有店舗数 | 全店売上高（万円） | 集計対象企業数 | 前年同月比（全店） | 前年同月比（既存店） |
|---|---|---|---|---|
| 1～3店舗 | 645,422 | 45 | 94.4% | 96.7% |
| 4～10店舗 | 3,929,893 | 73 | 100.6% | 99.8% |
| 11～25店舗 | 9,672,252 | 62 | 98.8% | 99.0% |
| 26～50店舗 | 16,107,009 | 46 | 100.2% | 99.3% |
| 51店舗以上 | 58,564,609 | 44 | 102.0% | 100.8% |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 集計企業数（社） | 270 | 既存店総売上高（万円） | 86,709,681 |
| 総店舗数（店舗） | 7,932 | 店舗平均月商（万円） | 11,210 |
| 総売場面積（㎡） | 13,138,802 | 売場１㎡あたり売上高（万円） | 6.8 |

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第２位以下四捨五入

# 2018年11月エリア別気候状況

## 1.　11月気温の特徴：東日本でかなり高く、北日本で高かった。

上旬：北日本でかなり高く、東日本で高かった。

中旬：北・東日本と沖縄・奄美で高く、西日本では平年並だった。

下旬：東・西日本と沖縄・奄美で高く、北日本では平年並だった。

**2017年11月との比較：北・東日本を中心に特に中旬は前年よりかなり高い気温となった**

| | 平年との比較（℃） | | | | | | 今年と前年との差（℃） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2018年11月 | | | 2017年11月（前年） | | | | | |
| | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| 北海道地方 | 2.5 | 1.8 | -0.2 | 1.4 | -1.0 | -1.7 | 1.1 | 2.8 | 1.5 |
| 東北地方 | 2.1 | 1.2 | 0.5 | 1.6 | -1.0 | -1.6 | 0.5 | 2.2 | 2.1 |
| 関東甲信地方 | 2.1 | 1.6 | 1.3 | 0.6 | -1.1 | -0.1 | 1.5 | 2.7 | 1.4 |
| 北陸地方 | 1.5 | 1.2 | 1.2 | 0.5 | -1.9 | -1.2 | 1.0 | 3.1 | 2.4 |
| 東海地方 | 1.7 | 1.5 | 1.1 | 0.6 | -1.5 | -0.5 | 1.1 | 3.0 | 1.6 |
| 近畿地方 | 1.5 | 1.0 | 0.5 | -0.2 | -1.8 | -0.6 | 1.7 | 2.8 | 1.1 |
| 中国地方 | 0.7 | 0.6 | 0.4 | 0.1 | -1.5 | -0.5 | 0.6 | 2.1 | 0.9 |
| 四国地方 | 0.5 | 0.1 | 0.1 | 0.0 | -1.8 | -0.7 | 0.5 | 1.9 | 0.8 |
| 九州北部 | 0.5 | 0.1 | 0.4 | 0.5 | -1.6 | -0.3 | 0.0 | 1.7 | 0.7 |
| 九州南部・奄美地方 | 0.0 | -0.3 | 0.2 | 0.4 | -1.1 | -0.3 | -0.4 | 0.8 | 0.5 |

**平年差**
＋2℃以上　－2℃以上
＋1℃以上　－1℃以上

**前年差**
＋2℃以上　－2℃以上
＋1℃以上　－1℃以上

## 2.　11月日照時間の特徴：東日本太平洋側を除き月間日照時間が多かった

上旬：北日本日本海側と西日本では多く、東日本太平洋側では少なかった。

中旬：北日本太平洋側と東日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。

下旬：沖縄・奄美でかなり多く、北日本太平洋側と東日本では多かった。

**2017年11月との比較：日本海側を中心にやや前年よりやや多い日照時間となった**

| | 日照時間　平年比（%） | | | | | | 今年と前年との差（%） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2018年11月 | | | 2017年11月（前年） | | | | | |
| | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| 北海道地方 | 117 | 85 | 110 | 89 | 95 | 66 | 28 | -10 | 44 |
| 東北地方 | 108 | 143 | 119 | 116 | 89 | 86 | -8 | 54 | 33 |
| 関東甲信地方 | 85 | 111 | 121 | 138 | 99 | 100 | -53 | 12 | 21 |
| 北陸地方 | 106 | 127 | 135 | 152 | 72 | 88 | -46 | 55 | 47 |
| 東海地方 | 81 | 109 | 123 | 138 | 94 | 106 | -57 | 15 | 17 |
| 近畿地方 | 116 | 97 | 114 | 143 | 103 | 100 | -27 | -6 | 14 |
| 中国地方 | 134 | 89 | 108 | 135 | 116 | 91 | -1 | -27 | 17 |
| 四国地方 | 152 | 115 | 98 | 128 | 100 | 70 | 24 | 15 | 28 |
| 九州北部 | 148 | 111 | 101 | 123 | 115 | 75 | 25 | -4 | 26 |
| 九州南部・奄美地方 | 135 | 125 | 102 | 107 | 77 | 72 | 28 | 48 | 30 |

**平年差**
平年比150%以上　平年比50%以下
平年比125%～149%　平年比51%～75%

**前年差**
＋50%以上　－50%以下
＋25～49%　－25～-49%

## 3.　11月降水量の特徴：北日本と東日本日本海側では月降水量はかなり少なった□

上旬：北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側と西日本太平洋側では少なかっ□。

中旬：北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と東日本では少なかった。

下旬：北日本太平洋側と東・西日本日本海側、沖縄・奄美で少なった。

**2017年11月との比較：中旬以降前年よりかなり少ない降水量となった**

| | 降水量　平年比（%） | | | | | | 今年と前年との差（%） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2018年11月 | | | 2017年11月（前年） | | | | | |
| | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| 北海道地方 | 72 | 61 | 82 | 91 | 145 | 107 | -19 | -84 | -25 |
| 東北地方 | 77 | 25 | 40 | 26 | 73 | 95 | 51 | -48 | -55 |
| 関東甲信地方 | 95 | 23 | 50 | 24 | 63 | 94 | 71 | -40 | -44 |
| 北陸地方 | 31 | 56 | 0 | 55 | 172 | 99 | -24 | -116 | -99 |
| 東海地方 | 147 | 6 | 11 | 21 | 93 | 69 | 126 | -87 | -58 |
| 近畿地方 | 65 | 23 | 27 | 26 | 128 | 62 | 39 | -105 | -35 |
| 中国地方 | 31 | 0 | 29 | 32 | 52 | 75 | -1 | -52 | -46 |
| 四国地方 | 22 | 58 | 87 | 44 | 116 | 95 | -22 | -58 | -8 |
| 九州北部 | 59 | 0 | 42 | 40 | 41 | 53 | 19 | -41 | -11 |
| 九州南部・奄美地方 | 29 | 134 | 123 | 90 | 173 | 98 | -61 | -39 | 25 |

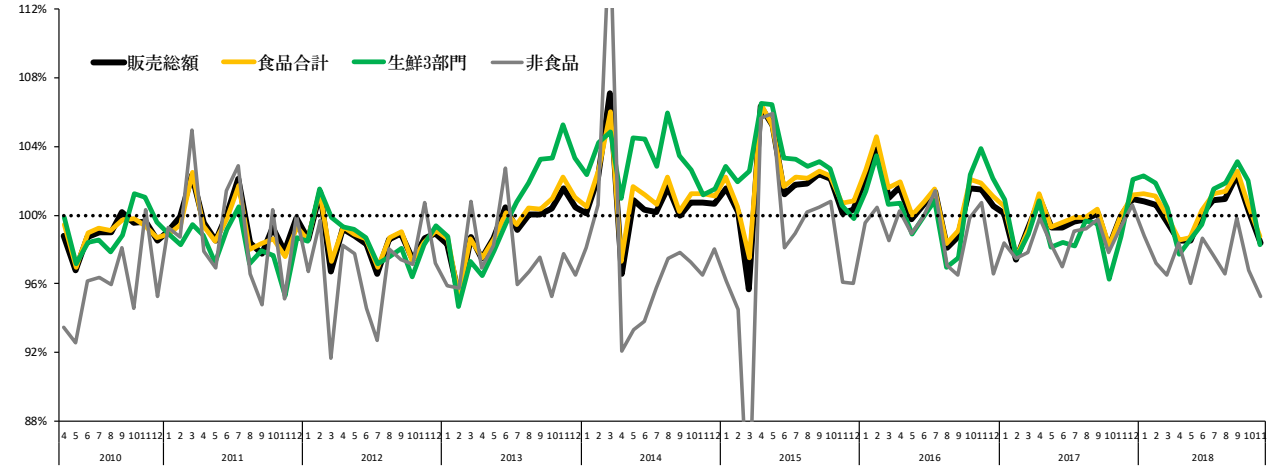
**平年差**
平年比150%以上　平年比50%以下
平年比125%～149%　平年比51%～75%

**前年差**
＋50%以上　－50%以下
＋25～49%　－25～-49%

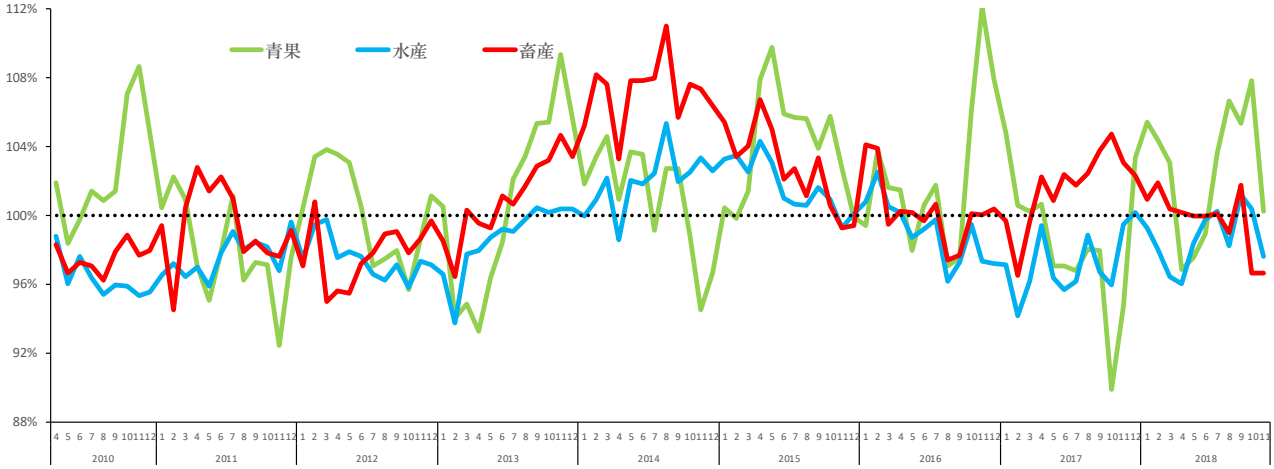
気象庁ホームページ・報道発表資料「11月の気候」参照
平年値は過去30年（1981年～2010年）の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

# スーパーマーケット販売統計（パネル270） 既存店前年同月比推移　2010年4月～

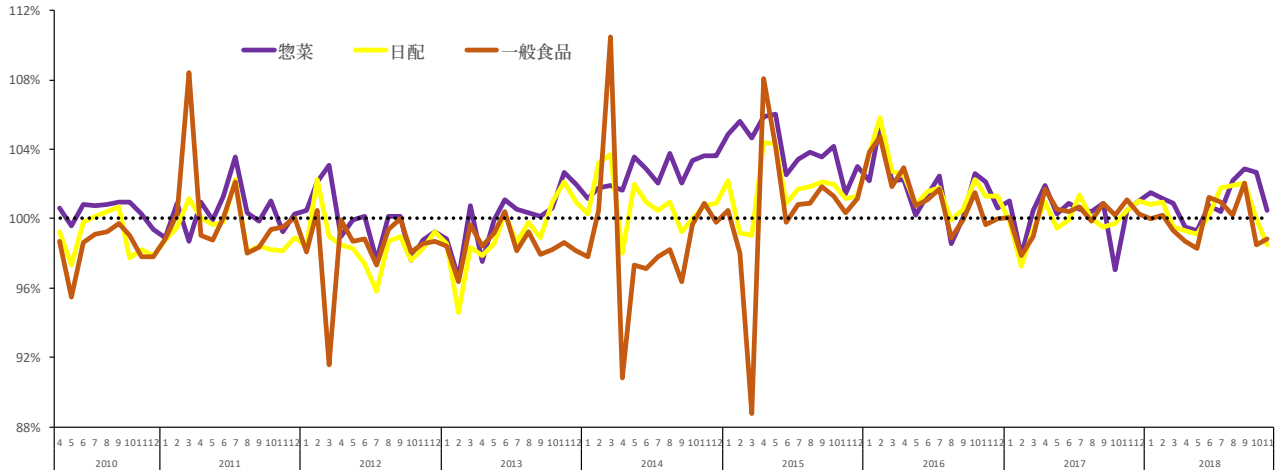
## 販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品




## 青果・水産・畜産




## 惣菜・日配・一般食品




※2010年4月～2018年10月までは確報版による前年同月比、2018年11月は速報版による前年同月比

# スーパーマーケット景気動向調査

## 2018 年 12 月調査結果（11 月実績）
## （2018 年 12 月 21 日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

**【経営動向調査】**

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について
- 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの５段階で評価
- 前年同月を 100 とした当月の値を調査　※2014 年 4 月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、
- 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの５段階で評価
- 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査 DI（Diffusion Index）の算出方法

回答構成比（%）に以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善＋0.5・やや改善＋0.25・変わらない±0 ・やや悪化－0.25・かなり悪化－0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DI は「0」

**【景況感調査】**

1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、
- ２～３ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで５段階で評価
- 今後２～３ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの５段階で評価

---

景況感 DI（Diffusion Index）の算出方法

回答構成比（%）に以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善＋1.0・やや改善＋0.75・変わらない＋0.5 ・やや悪化＋0.25・かなり悪化＋0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DI は「50」

一般社団法人　全国スーパーマーケット協会
一般社団法人　日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

# 12 月調査（11 月実績）結果概況

## 景気判断 DI は現状・見通しともに大幅な悪化

11 月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断 DI 現状判断は前月から-6.1 の 41.9、見通し判断は前月から-5.7 の 40.1 となり、どちらも前月から大幅な悪化となった。

経営動向調査では、売上高 DI は前月より-6.4 下落し-11.4、収益 DI も前月から-5.0 の-11.9 と共に二桁マイナス圏まで下落した。青果や豚肉などに相場安傾向がみられており、生鮮仕入原価 DI は-1.0 と 4 月以来のマイナスを記録し、客単価 DI は-3.9 と低迷した。一方来客数 DI は、土曜日と祝日が重なった影響で、-14.2 と二桁マイナスまで低下した。

カテゴリー動向調査では、平年・前年より高い気温により鍋商材を中心に冬物商材が不振となり、青果 DI が-2.4、水産 DI-10.8、畜産 DI は-16.1、日配 DI は-10.2 と温度変化に敏感なカテゴリーで大きく影響を受けた。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では、現状判断、見通し判断ともに大幅な悪化となったが、特に中核店舗景気判断 DI の悪化幅が大きい。一方で、周辺地域景気判断 DI は小幅な悪化にとどまっており、スーパーマーケットの経営環境に対する現状と見通し判断の悪化が顕著となった。（周辺地域景気動向 DI 長期傾向参照）

ゆるやかな回復傾向を続けていた景況感であったが、これまで数か月の上昇分を今月一気に失う結果となった。これは、構造的に足元の生鮮品相場の低下よる客単価減少、来客数減に直面し、年末にかけて暖冬な気候により、冬物商材の動きが鈍ることが警戒されている。

加えて来年は、このような厳しい外部要因に加え、軽減税率やキャッシュレス化など新たな仕組みの導入が進むことで、消費者との新たな関係構築を求められ、企業力も試される一年となるだろう。

**景況感調査**

**現状判断**

| 景気判断DI | 消費者購買意欲DI | 周辺地域　競合状況DI | 店舗周辺地域　景気判断DI |
|---|---|---|---|
| 当月：４１．９（－６．１） | 当月：４３．４（－２．６） | 当月：３８．９（－２．５） | 当月：４５．０（－１．９） |
| 前月：４８．０ | 前月：４６．０ | 前月：４１．４ | 前月：４６．９ |

**見通し判断**

| 景気判断DI | 消費者購買意欲DI | 周辺地域　競合状況DI | 店舗周辺地域　景気判断DI |
|---|---|---|---|
| 当月：４０．１（－５．７） | 当月：４２．７（－３．２） | 当月：３８．２（－１．７） | 当月：４４．１（－２．６） |
| 前月：４５．８ | 前月：４５．９ | 前月：３９．９ | 前月：４６．７ |

**経営動向調査**　**経営状況**

| 売上高DI | 客単価DI | 来客数DI |
|---|---|---|
| 当月：－１１．４（－６．４） | 当月：－３．９（－５．３） | 当月：－１４．２（－６．４） |
| 前月：－５．０ | 前月：１．４ | 前月：－７．８ |

| 収益DI | 販売価格DI | 生鮮品仕入原価DI | 食品仕入原価DI |
|---|---|---|---|
| 当月：－１１．０（－５．０） | 当月：－２．７（－６．７） | 当月：－１．０（－９．４） | 当月：２．３（－０．４） |
| 前月：－６．０ | 前月：４．０ | 前月：８．４ | 前月：２．７ |

**カテゴリー動向**

| 青果DI | 水産DI | 畜産DI |
|---|---|---|
| 当月：－２．４（－２１．７） | 当月：－１０．８（－９．３） | 当月：－１６．１（＋１．４） |
| 前月：１９．３ | 前月：－１．５ | 前月：－１７．５ |

| 惣菜DI | 日配DI | 一般食品DI | 非食品DI |
|---|---|---|---|
| 当月：１．５（－１．９） | 当月：－１０．２（－４．８） | 当月：－５．５（＋４．５） | 当月：－１４．５（－２．０） |
| 前月：３．４ | 前月：－５．４ | 前月：－１０．０ | 前月：－１２．５ |

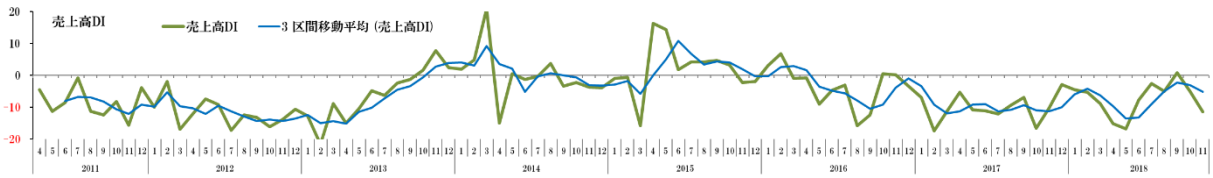
**（）内は前月 DI との増減、赤字はマイナス**

## 12 月調査（11 月実績）結果詳細　Ⅰ．経営動向調査（2011 年 4 月～）

### 1.　売上高 DI

二桁マイナス圏まで大幅に下落

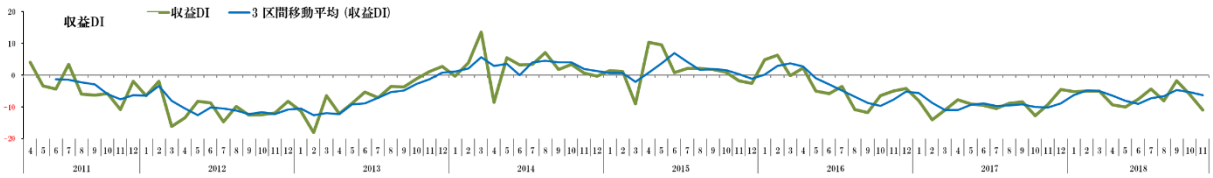
| 回答構成比（%） | かなり減少 | やや減少 | 変わらない | やや増加 | かなり増加 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高（前月） | 10.8 | 31.7 | 29.6 | 22.6 | 5.4 | -5.0 |
| **売上高（当月）** | **12.7** | **42.2** | **24.9** | **18.5** | **1.7** | **-11.4** |




### 2.　収益 DI

二桁マイナス圏まで大幅に下落

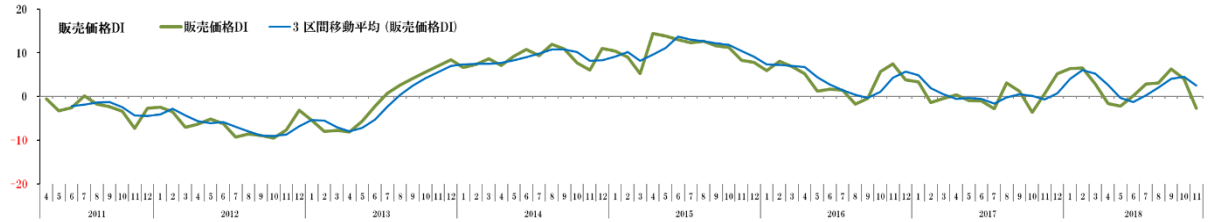
| 回答構成比（%） | かなり減少 | やや減少 | 変わらない | やや増加 | かなり増加 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 収益（前月） | 10.9 | 31.1 | 30.6 | 25.7 | 1.6 | -6.0 |
| **収益（当月）** | **10.1** | **42.9** | **31.5** | **11.9** | **3.6** | **-11.0** |




### 3.　販売価格 DI

小幅ながらマイナス圏へ

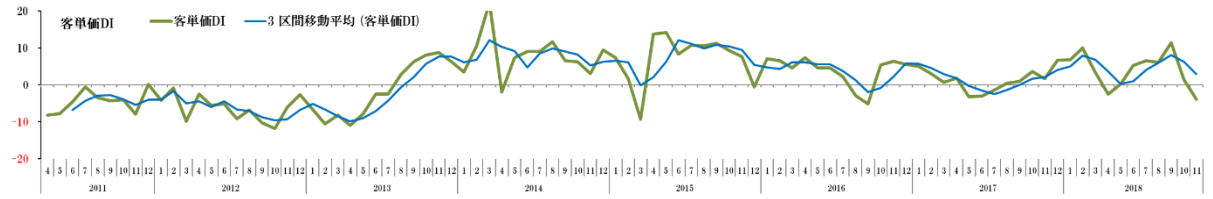
| 回答構成比（%） | かなり減少 | やや減少 | 変わらない | やや増加 | かなり増加 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 販売価格（前月） | 0.0 | 9.7 | 65.1 | 24.7 | 0.5 | 4.0 |
| **販売価格（当月）** | **1.2** | **20.2** | **67.1** | **11.6** | **0.0** | **-2.7** |




### 4.　客単価 DI

小幅ながらマイナス圏へ

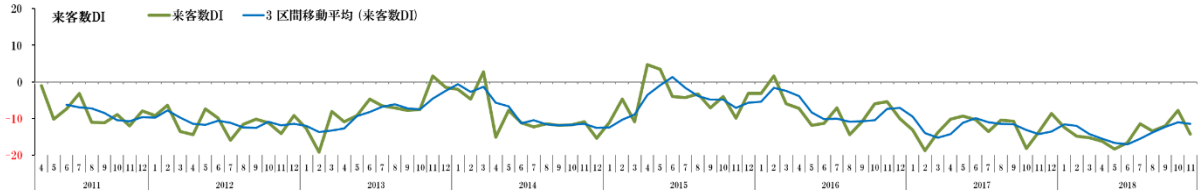
| 回答構成比（%） | かなり減少 | やや減少 | 変わらない | やや増加 | かなり増加 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 客単価（前月） | 1.6 | 23.8 | 42.2 | 32.4 | 0.0 | 1.4 |
| **客単価（当月）** | **1.7** | **30.5** | **49.4** | **18.4** | **0.0** | **-3.9** |



## 5.　来客数 DI

二桁マイナス水準まで大幅に下落

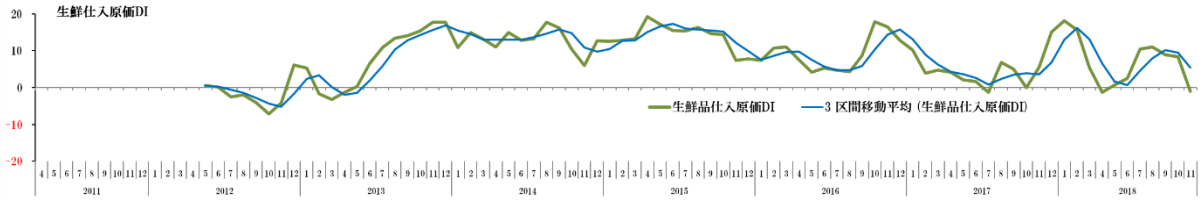
| 回答構成比（%） | かなり減少 | やや減少 | 変わらない | やや増加 | かなり増加 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 来客数（前月） | 9.7 | 37.1 | 31.2 | 18.8 | 3.2 | -7.8 |
| **来客数（当月）** | **14.0** | **45.9** | **25.0** | **13.4** | **1.7** | **-14.2** |




## 6.　生鮮仕入原価 DI

4 月以来のマイナス圏に下落

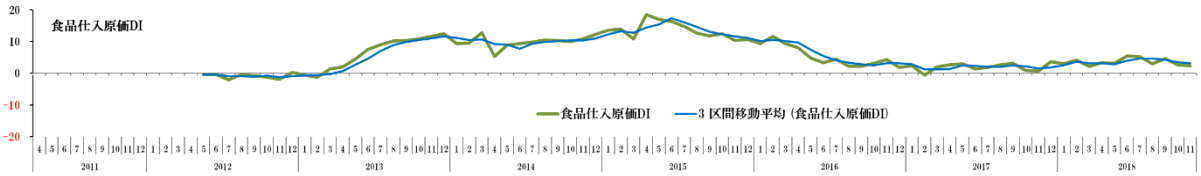
| 回答構成比（%） | かなり減少 | やや減少 | 変わらない | やや増加 | かなり増加 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 生鮮仕入原価（前月） | 0.6 | 5.5 | 55.2 | 37.0 | 1.7 | 8.4 |
| **生鮮仕入原価（当月）** | **2.9** | **21.2** | **52.9** | **22.9** | **0.0** | **-1.0** |




## 7.　食品仕入原価 DI

小幅プラス圏での横ばいでの推移

| 回答構成比（%） | かなり減少 | やや減少 | 変わらない | やや増加 | かなり増加 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 食品仕入原価（前月） | 1.6 | 8.2 | 68.5 | 21.2 | 0.5 | 2.7 |
| **食品仕入原価（当月）** | **2.3** | **5.8** | **72.5** | **18.7** | **0.6** | **2.3** |

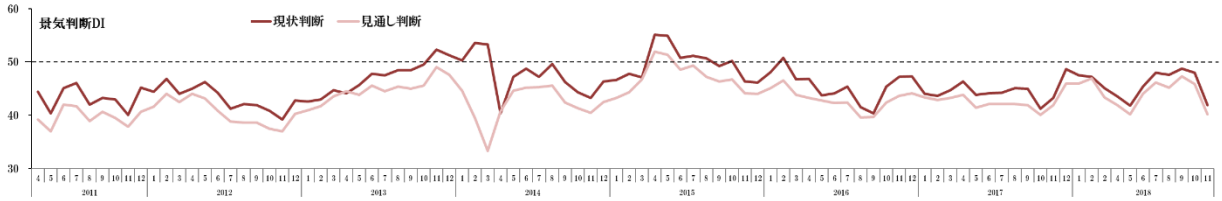


## Ⅱ．景況感調査（2011 年 4 月～／周辺地域景気判断のみ 2010 年 4 月～）

### 1． 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共大幅に悪化

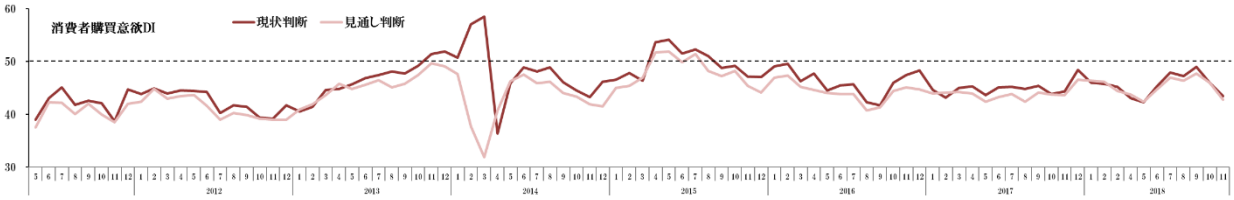
| 回答構成比（%） | かなり悪化 | やや悪化 | 変わらない | やや改善 | かなり改善 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【現状】景気判断（前月） | 1.1 | 21.0 | 64.5 | 11.8 | 1.6 | 48.0 |
| **【現状】景気判断（当月）** | **4.0** | **31.4** | **57.7** | **6.9** | **0.0** | **41.9** |
| 回答構成比（%） | かなり悪化 | やや悪化 | 変わらない | やや改善 | かなり改善 | DI |
| 【見通し】景気判断（前月） | 2.2 | 23.8 | 63.2 | 10.3 | 0.5 | 45.8 |
| **【見通し】景気判断（当月）** | **3.4** | **38.9** | **51.4** | **6.3** | **0.0** | **40.1** |




### 2． 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に悪化

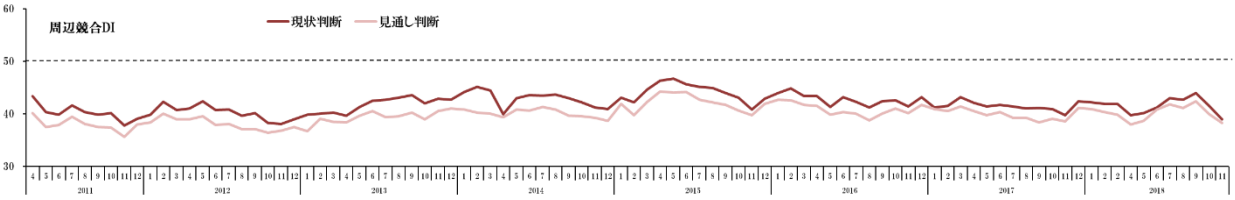
| 回答構成比（%） | かなり悪化 | やや悪化 | 変わらない | やや改善 | かなり改善 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【現状】購買意欲（前月） | 1.1 | 21.0 | 71.0 | 7.0 | 0.0 | 46.0 |
| **【現状】購買意欲（当月）** | **2.3** | **28.0** | **64.0** | **5.1** | **0.6** | **43.4** |
| 回答構成比（%） | かなり悪化 | やや悪化 | 変わらない | やや改善 | かなり改善 | DI |
| 【見通し】購買意欲（前月） | 1.1 | 21.0 | 71.0 | 7.0 | 0.0 | 46.0 |
| **【見通し】購買意欲（当月）** | **2.3** | **28.0** | **64.0** | **5.1** | **0.6** | **43.4** |




### 3． 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断共に悪化

| 回答構成比（%） | かなり悪化 | やや悪化 | 変わらない | やや改善 | かなり改善 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【現状】競合状況（前月） | 3.2 | 21.6 | 71.6 | 3.7 | 0.0 | 43.9 |
| **【現状】競合状況（当月）** | **5.0** | **30.2** | **61.6** | **2.5** | **0.6** | **40.9** |
| 回答構成比（%） | かなり悪化 | やや悪化 | 変わらない | やや改善 | かなり改善 | DI |
| 【見通し】競合状況（前月） | 6.5 | 30.6 | 59.7 | 3.2 | 0.0 | 39.9 |
| **【見通し】競合状況（当月）** | **8.6** | **31.6** | **58.0** | **1.7** | **0.0** | **38.2** |

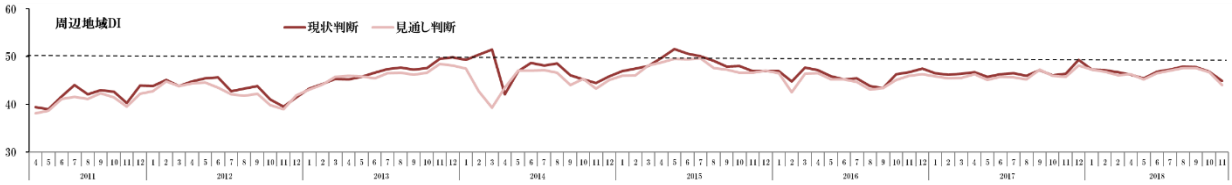


## 4.　中核店舗周辺地域景気判断 DI

現状判断、見通し判断共小幅に悪化

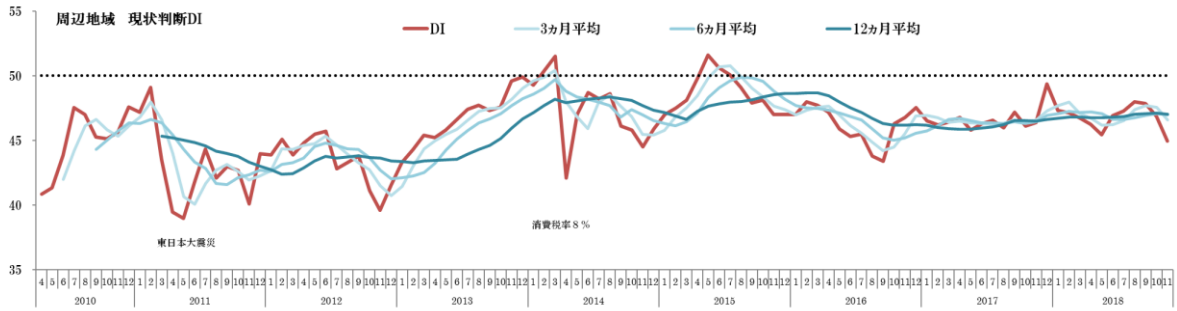
| 回答構成比（%） | かなり悪化 | やや悪化 | 変わらない | やや改善 | かなり改善 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【現状】地域景気（前月） | 0.0 | 10.6 | 87.2 | 2.1 | 0.0 | 47.9 |
| **【現状】地域景気（当月）** | **1.3** | **12.1** | **85.4** | **0.6** | **0.6** | **46.8** |

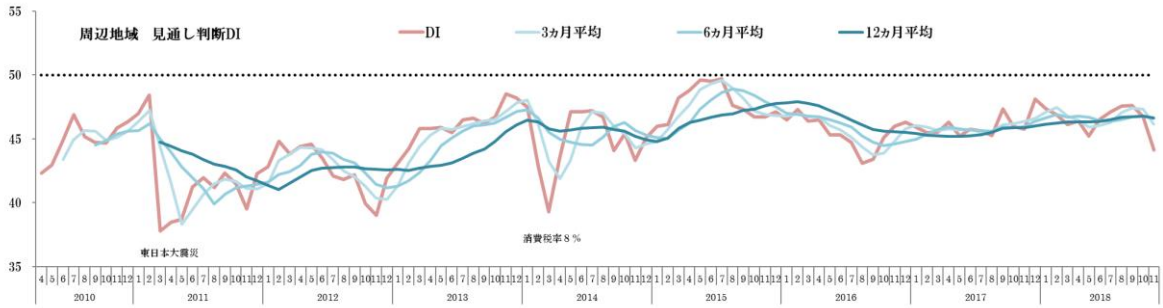
| 回答構成比（%） | かなり悪化 | やや悪化 | 変わらない | やや改善 | かなり改善 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 【見通し】地域景気（前月） | 1.1 | 13.0 | 84.2 | 1.1 | 0.5 | 46.7 |
| **【見通し】地域景気（当月）** | **1.1** | **22.4** | **75.3** | **1.1** | **0.0** | **44.1** |




※長期傾向（2010 年 4 月～）

11 年 3 月の東日本大震災後低迷を続けていた DI は、12 年 11 月から 16 ヵ月にわたり改善が続き、14 年 3 月には現状判断 DI が 51.5 を記録した。14 年 4 月の消費税率引き上げにより大きく悪化したものの、その後徐々に持直しをみせ、2015 年 5 月には調査開始以来の最高値を更新し、現状判断 DI は 51.6 にまで達した。しかしこれをピークとし、その後 15 ヵ月にわたり悪化傾向が続き 16 年 9 月には、現状判断 DI は 43.4 まで低迷した。以降やや改善傾向が続いていたが、18 年に入り悪化傾向が続き、5 月には移動線付近を下回る水準まで低下した。その後 6 月以降は改善傾向が続いていたが、10 月から悪化し 12 月には大幅な悪化をみせた。

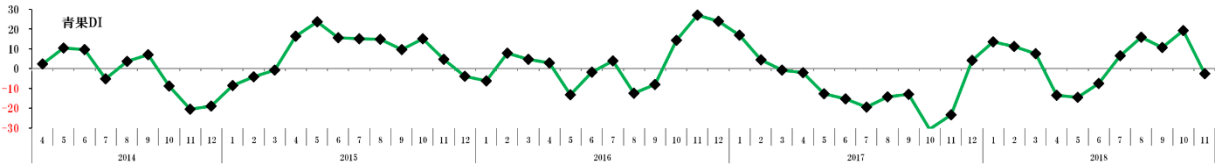


## Ⅲ.カテゴリー別動向

### 1.　青果 DI：-２.４（やや不調）

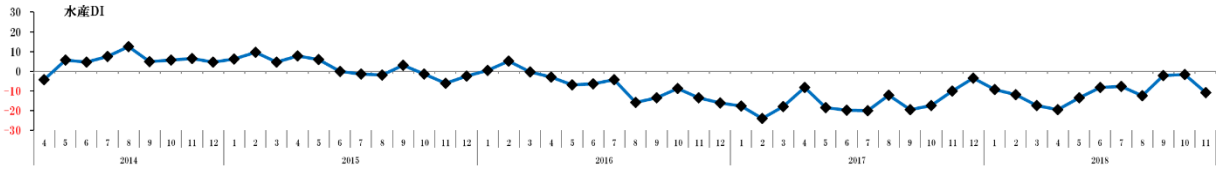
| 回答構成比（%） | かなり不調 | やや不調 | 変わらない | やや好調 | かなり好調 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 青果（前月） | 2.2 | 8.9 | 20.6 | 46.1 | 22.2 | 19.3 |
| **青果（当月）** | **9.7** | **30.3** | **25.5** | **29.1** | **5.5** | **-2.4** |




月中旬より白菜や大根など大型野菜を中心に相場安となり単価が下落した。平年・前年と比べても高い気温により、鍋物用食材の動きが悪かった。一方でレタスやトマト、キュウリなどのサラダ商材は好調となった店舗が多かった。引き続きＴＶ報道によりマイタケに特需がみられた店舗もあった。果物類ではみかんが前年不作の反動もあり好調、りんごや柿は不調とするコメントが多くみられた。輸入果物ではキウイフルーツが好調とする店舗が多い。

### 2.　水産 DI：－１０.８（不調）

| 回答構成比（%） | かなり不調 | やや不調 | 変わらない | やや好調 | かなり好調 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 水産（前月） | 9.4 | 26.5 | 30.9 | 27.1 | 6.1 | -1.5 |
| **水産（当月）** | **13.3** | **37.6** | **29.1** | **18.8** | **1.2** | **-10.8** |




平年・前年より高い気温に加え、前年野菜の相場安で伸長した鍋物需要が大きく落ち込み鍋物用食材（牡蠣やタラなど）は動きが悪く不調となった。漁獲量が回復したサンマや鮭は好調、カツオには前年のアニサキス報道からの反動増もあった。刺身類は好不調がわかれているが、マグロは不調とするコメントがやや上回った。イカやタコは不漁で入荷が少なく、またうなぎは価格が高騰しているおり、共に不調となった。

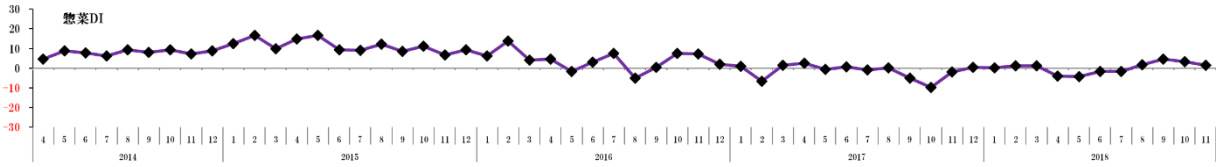
### 3.　畜産 DI：-１６.１（不調）

| 回答構成比（%） | かなり不調 | やや不調 | 変わらない | やや好調 | かなり好調 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 畜産（前月） | 21.1 | 39.4 | 27.8 | 11.7 | 0.0 | -17.5 |
| **畜産（当月）** | **18.2** | **41.8** | **27.3** | **11.5** | **1.2** | **-16.1** |

平年・前年より高い気温に加え、前年野菜の相場安で伸長した薄切り肉を中心に鍋物需要が大きく落ち込み不調となった。加えて鶏肉や豚肉は相場が下落傾向にあり単価下落した影響も受けた。焼肉やステーキ用牛肉は好調とする店舗もみられた。加工肉は引き続き不調とする店舗が多かった。

## 4.　惣菜 DI：１.５（やや好調）

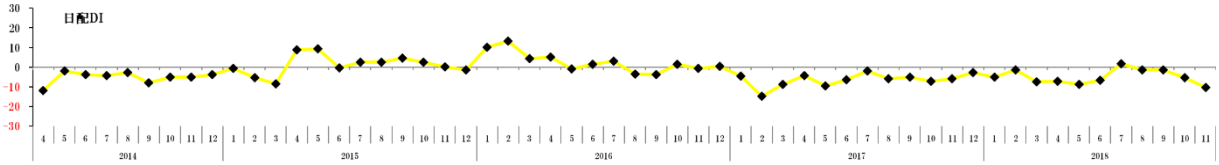
| 回答構成比（%） | かなり不調 | やや不調 | 変わらない | やや好調 | かなり好調 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 惣菜（前月） | 5.7 | 21.0 | 34.1 | 32.4 | 6.8 | 3.4 |
| **惣菜（当月）** | **3.1** | **27.8** | **35.8** | **26.5** | **6.8** | **1.5** |




週末の天候に恵まれ行楽需要により、米飯類、唐揚げの動きがよく、やや好調となった。前年量り売り惣菜に O157 報道の影響があった反動もみられた。青果相場の下落でサラダ類、高い気温により麺類などホット商材の動きが悪かった。旬の食材を使ったメニュー提案などが成果をあげている店舗もみられた。寿司類は好不調まちまちとなった。

## 5.　日配 DI：-１０.２（不調）

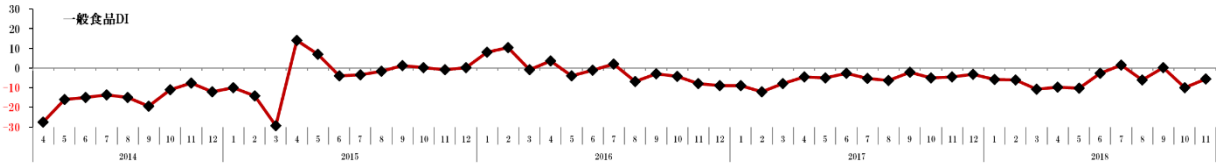
| 回答構成比（%） | かなり不調 | やや不調 | 変わらない | やや好調 | かなり好調 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 日配（前月） | 8.3 | 29.3 | 39.8 | 21.0 | 1.7 | -5.4 |
| **日配（当月）** | **10.4** | **35.4** | **40.2** | **12.8** | **1.2** | **-10.2** |




平年・前年より高い気温により、和日配では鍋物やおでん商材、また麺類などのホット商材の動きが悪かった。一方でアイス類は比較的堅調だった。青果相場の下落により漬物類が不調となった。健康報道により、納豆、カニカマ、梅干しには特需が続いている。牛乳やヨーグルトは好不調がわかれている。周辺店舗との価格競争の厳しさを指摘するコメントがみられた。

## 6.　一般食品：－５.５（やや不調）

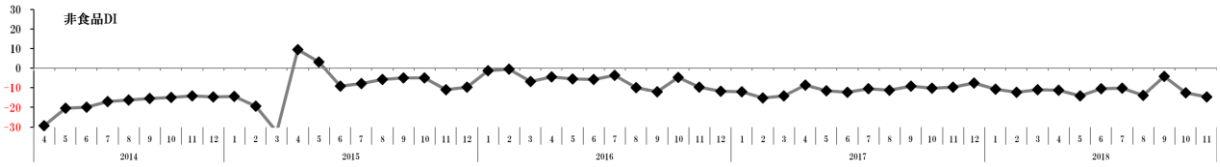
| 回答構成比（%） | かなり不調 | やや不調 | 変わらない | やや好調 | かなり好調 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般食品（前月） | 13.5 | 30.3 | 39.9 | 15.2 | 1.1 | -10.0 |
| **一般食品（当月）** | **6.1** | **35.8** | **35.8** | **18.8** | **3.6** | **-5.5** |




平年・前年より高い気温により鍋用調味料や麺類やシチューなどホット商材は総じて不振となった一方で、飲料はやや好調となった。単価の上昇が一巡した米類は伸びなやんだ。報道によりサバ缶や食油に特需が継続している。ボジョレーヌーボーをはじめとする酒類は不調とする店舗が多かった。周辺店舗との価格競争の厳しさを指摘するコメントがみられた。

## 7．　非食品 DI：－１４．５（不調）

| 回答構成比（%） | かなり不調 | やや不調 | 変わらない | やや好調 | かなり好調 | DI |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 非食品（前月） | 14.9 | 34.5 | 36.8 | 13.2 | 0.6 | -12.5 |
| **非食品（当月）** | **18.1** | **35.6** | **33.8** | **11.3** | **1.3** | **-14.5** |




気温が高くカイロなどの冬物の動きが悪かったほか、マスクなどのインフルエンザ対策用品も伸び悩んだ。タバコは売上が持ち直しつつある。ホームセンターやドラッグストアなどとの競合の影響が大きく、日常使いする家庭用品を中心に販売の低迷が続いている。

**カテゴリー別 DI による好不調判断**

**かなり好調：　～ 20　　好調：　20 ～ 10　　やや好調：10 ～ 0**
**やや不調　：　0 ～ -10　　不調：-10 ～-20　　かなり不調：　-20～**

**2018 年 12 月調査（11 月実績）キーワード TOP3**

1．　平年・前年より高い気温
2．　青果相場下落
3．　客数減（祝日と土曜日が重なる）

**スーパーマーケット景気動向調査　集計数**

11 月実績速報版　175 社
10 月実績確報版　186 社

**スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ**

スーパーマーケット統計事務局　tokei@super.or.jp